

第2会場●4F 視聴覚室

Lifelong Learning

■司 会／齊藤 道夫 島根県津和野町役場総務企画課・野中里山倶楽部 代表
大脇のり枝 福岡県宇美町立桜原小学校 教諭

1 むかし体験「富岡往還」から演劇「島の礎」の上演へ 10:45～11:10

ー鈴木精神を伝承するいやしの里づくりー

井立 伸一（熊本県本渡市） 本渡市立本町小学校 教頭

鈴木重成公没後350年を記念する小学校と校区住民が一体となった事業として構想。鈴木精神の継承を柱に発足したまちづくり実行委員会との連携を強めた。天草のルーツを探る「豊田市立矢並小学校」との交流、昔の暮らしを体験する「富岡往還」を実施。町民の手作り演劇「島の礎」も上演。郷土を見つめ、小学生から高齢者まで、いやしの里づくりの実践の中で世代間交流を具体化した。

2 みんなで学校をつくろう 11:10～11:35

ー学校・家庭・地域が一体となって育むタフな子どもー

牛嶋 理孝（長崎県岐宿町） 岐宿町立川原小学校 研究主任

「タフな子どもを育むための実践モデル事業」として標記の目標を掲げ、家庭、学校、地域が一体となって地域の特色を生かしたプログラムに取り組んでいる。家庭や地域の学校に対する関心・協力体制が強化され、「学校の敷居が低くなった」と評価を受けている。

3 自然・生活体験活動を推進する社会学連携・融合の具体的方策 11:35～12:00

ー「やまびこの杜」セカンドスクール IN 英彦山ー

井上 憲治・是石 博幸（福岡県） 福岡県立英彦山青年の家研修課 課長・社会教育主事

学校職員の勤務時間外は青年の家職員が子どもの生活指導を担当するという2機関共同／共催事業。青年の家の機能と立地をフルに活用して教科学習と「山伏タイム（クラフト、野外登山、野外調理、星座観察）」を組み合わせた。カリキュラムも指導者も学社連携による相乗共生。対象は福岡県内の小中学校から募集した。最短は1泊2日。最長は4泊5日。

4 総括討論 12:00～12:30